

別紙様式3(一般競争入札)

令和7年度 上川中部森林管理署公共工事契約状況

令和 7年 4月 24日

分任支出負担行為担当官  
上川中部森林管理署長 猪股 英史

工事名		施工場所	工事種別	工事概要	入札方式
滝の前治山工事		北海道上川郡上川町層雲峡 上川中部森林管理署 2202林班	治山工事	高エネルギー吸収柵工 34m 静的破碎工 149m3 山腹緑化工 1552m2	一般競争入札
予定価格(税抜)	調査基準価格(税抜)	契約年月日	契約相手方の商号又は名称及び住所		
177,666,000 円	161,833,380 円	令和7年4月22日	北海道旭川市3条通4丁目右4号 株式会社 飯島組 代表取締役 飯島 弘泰		
契約金額(税抜)	工事着手の時期	工事完了の時期			
175,000,000 円	令和7年4月	令和8年3月			

- 予算決算及び会計令(昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。)第73条の規定に基づく競争参加資格  
別添「入札公告」のとおり
- 競争に参加しようとした者の商号又は名称並びにそのうち競争に参加させなかった者の商号又は名称及びその者を参加させなかった理由  
別紙「競争参加資格確認結果書」(別添1)のとおり
- 入札者の商号又は名称及び各入札者の各回の入札金額  
別紙「入札執行調書」(別添2)のとおり
- 予定価格の作成に用いた積算価格についての内訳  
別紙「工事積算内訳書」(別添3)のとおり
- 予決令第91条第2項の規定により総合評価落札方式を実施した場合  
総合評価落札方式を実施した理由及び落札者決定基準 別添「入札公告」のとおり  
落札理由 開札の結果、落札者決定基準を満たした入札者のうち当該落札者が最も高い評価値であったため
- 契約金額の変更を伴う契約の変更を行った場合
  - ・ 契約変更年月日： 令和8年1月22日  
変更後の契約金額： 225,500,000 円(税抜)  
変更理由： 工事中の落石に対する安全対策の追加計上、静的破碎工の穿孔間隔変更に伴う歩掛の変更、山腹斜面の支障木処理費の計上、除雪工の計上等を行ったため。
- 工事成績評定の結果  
評定点 87点

## 入札公告(建設工事)

(難工事施工実績評価方式)

次のとおり一般競争入札(政府調達対象外)に付します。

本工事は、電子契約システム試行対象案件である。

なお、本入札に係る契約の締結は、令和7年度予算が成立し、当該建設工事に係る予算示達がなされることを条件とします。

令和7年3月21日

分任支出負担行為担当官

上川中部森林管理署長 猪股 英史

### 1 工事概要等

本工事を難工事に指定する。

本工事は、施工パッケージ型積算方式の試行工事である。

本工事は、現場閉所による週休2日の試行工事(発注者指定方式)である。

本工事は、受発注者間の情報共有システムの活用工事である。

(1) 工 事 名 滝の前治山工事(電子入札対象案件及び電子契約試行対象案件)

(2) 工事場所 上川郡上川町層雲峡 上川中部森林管理署 2202 林班

(3) 工事内容 山腹工 0.51ha

高エネルギー吸収柵工 34m

土工(RCM) 1528 m<sup>2</sup>

静的破砕工 149 m<sup>3</sup>

植生マット伏工 1528 m<sup>2</sup>

仮設工 1 式

(4) 工 期 契約締結日の翌日から令和8年3月9日まで

(5) 本工事の入札は、適切かつ円滑な実施を目的として、仕様に基づく簡易な施工計画に係る技術提案等を求め、当該技術提案等に基づき、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式(簡易型)のうち、品質確保のための体制その他の施工体制の確保状況を確認し、入札説明書等に記載された要求要件を確実に実現できるかどうかを審査・評価する施工体制確認型総合評価落札方式(簡易型)により行う。

(6) 本工事の入札は、入札を電子入札システムにより行う。なお、電子入札システムによりがたい場合は、発注者の承諾を得て紙入札方式に代えることができる。

(7) 本工事は、契約手続きに係る書類の授受を、原則として電子契約システムで行う試行対象案件である。なお、電子契約システムによりがたい場合は、発注者の承諾を得て紙契約方式に代えるものとする。

(8) 本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年法律第104号)に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられ

た工事である。

- (9) 主任技術者の専任に係る取扱いについては、工事の対象となる工作物に一体性若しくは連続性が認められる工事又は施工にあたり相互に調整を要する工事で、かつ、工事現場の相互の間隔が直線距離で 10 k m 程度又は移動時間 60 分程度の近接した場所において同一の建設業者が施工する場合には、建設業法施行令第 27 条第 2 項により、同一の専任の主任技術者がこれらの建設工事を管理することができるものとする。

なお、この場合において、同一の主任技術者が管理することができる工事の数は、専任が必要な工事を含む場合は、原則 2 件程度とする。ただし、監理技術者には適用しない。

- (10) 本工事は、賃上げを実施する企業に対して総合評価における加点を行う工事である。

## 2 競争参加資格

- (1) 予算決算及び会計令（昭和 22 年勅令第 165 号。以下「予決令」という。）第 70 条及び第 71 条の規定に該当しない者であること。

なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であつて、契約締結のために必要な同意を得ている者は、予決令第 70 条中、特別の理由がある場合に該当する。

- (2) 令和 5・6 年度の北海道森林管理局における土木一式工事に係る B 等級、A 等級又は C 等級の一般競争参加資格の認定を受けている者（会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）に基づき更生手続き開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）に基づき再生手続き開始の申立てがなされている者については、手続き開始の決定後、北海道森林管理局長が別に定める手続に基づく一般競争参加資格の再認定を受けていること。）。

ただし、令和 7・8 年度の北海道森林管理局における土木一式工事に係る競争参加資格を引き続き取得すること。

- (3) 会社更生法に基づき更生手続き開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続き開始の申立てがなされている者（(2)の再認定を受けた者を除く。）でないこと。

- (4) 平成 21 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までの 15 年間に元請けとして、以下に示す契約金額 500 万円（消費税込み）以上（路地強化工は契約金額に制限なし。）の同種工事を施工した実績を有すること（経常建設共同企業体が同種工事を施工した場合における構成員の実績については、出資比率が 20% 以上である構成員に限り、当該実績を当該構成員の実績として認める。）。なお、当該実績が森林管理局長等（林野庁長官、森林技術総合研修所長、森林管理局長、森林管理署長、森林管理署支署長、森林管理事務所長、治山センター所長及び総合治山事業所長をいう。以下同じ。）が発注した工事のうち、入札説明書に示すものに係る実績である場合にあっては、「林野庁工事成績評定要領」（平成 10 年 3 月 31 日付け 10 林野管第 31 号林野庁長官通知）第 4 の 3 に規定する工事成績評定表の評定点（以下「評定点」という。）が 65 点未満のものは実績として認められない。

経常建設共同企業体にあつては、すべての構成員が上記の基準を満たす施工実績を有すること。

同種工事：森林土木工事（治山事業における溪間工事・山腹工事、林道規程の構造・規格に準ずる保安林管理道もしくは作業道の新設工事、林道事業における新設、改良、災害復旧工事、特殊修繕）

- (5) 当該工事の簡易な施工計画に係る技術提案書が適正であること。
- (6) 次に掲げる基準をすべて満たす主任技術者又は監理技術者を建設業法（昭和 24 年法律第 100 号）に基づき当該工事に配置できること。  
ただし、建設業法第 26 条第 3 項に規定する工事については、専任で配置できること。  
また、建設業法第 26 条第 2 項に規定する工事については、専任の監理技術者を配置できること。  
なお、監理技術者にあつては、監理技術者の行うべき職務を補佐する者として、次に掲げる②を除く基準をすべて満たす者を当該工事現場に専任で配置する場合は、2 現場を限度として兼務できることとする。
- ① 1 級土木施工管理技士又は 2 級土木施工管理技士もしくはこれと同等以上の資格を有する者であること。  
② 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者又はこれに準ずる者であること。
- (7) 競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）、競争参加資格確認資料（以下「資料」という。）及び技術提案書の提出期限の日から開札の時までの期間に、北海道森林管理局長から「工事請負契約指名停止等措置要領の制定について」（昭和 59 年 6 月 11 日付け 59 林野経第 156 号林野庁長官通知。以下「工事請負指名停止等措置要領」という。）に基づく指名停止を受けていないこと。
- (8) 北海道森林管理局管内の森林管理（支）署長が発注した同種工事で、令和 3 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までの 3 年間に完成・引き渡された工事の実績がある場合においては、当該工事に係る評定点の平均が 65 点以上であること。
- (9) 上記 1 に示した工事に係る設計業務等の受託者又は当該受託者と資本関係又は人的関係がある建設業者でないこと。（入札説明書参照）
- (10) 入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと（資本関係又は人的関係がある者のすべてが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く。）。（入札説明書参照）
- (11) 建設業法に基づく本店、支店又は営業所が、北海道森林管理局管内（北海道内）に所在すること。また、経常建設共同企業体として申請書、資料及び技術提案書（以下「技術提案書等」という。）を提出する場合は、有資格者名簿に記載されている共同企業体の本店所在地が、上記区域内であること。
- (12) 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、農林水産省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
- (13) 以下の届出をしていない建設業者（当該届出の義務がない者を除く。）でないこと。  
① 健康保険法（大正 11 年法律第 70 号）第 48 条の規定による届出  
② 厚生年金保険法（昭和 29 年法律第 115 号）第 27 条の規定による届出  
③ 雇用保険法（昭和 49 年法律第 116 号）第 7 条の規定による届出

### 3 競争参加資格の確認等

- (1) 本競争入札の参加希望者は、上記 2 に掲げる競争参加資格を有することを証明するため、次に掲げるところに従い、技術提案書等を提出し、分任支出負担行為担当官から競争参加資格の有無について確認を受けなければならない。
- (2) 技術提案書等の提出期間、場所及び方法
  - ①提出期間：令和 7 年 3 月 24 日から令和 7 年 4 月 4 日まで（行政機関の休日に関する法律（昭和 63 年法律第 91 号）第 1 条第 1 項に規定する行政機関の休日（以下「休日」という。）を除く。）の 9 時 00 分から 17 時 00 分まで。  
また、申請書及び資料については、提出期間の中で極力早めに提出願います。
  - ②提出先：〒070-8003 旭川市神楽 3 条 5 丁目 3 番 11 号  
上川中部森林管理署 総務グループ（総括事務管理官）  
電話：050-3160-5745  
メールアドレス：h\_kamikawachubu@maff.go.jp
  - ③その他：電子入札システムを用いて提出すること。詳細は入札説明書によるものとし、郵便又は FAX によるものは受け付けない。ただし、承諾を得て紙入札による場合は②の場所に持参すること。  
本工事においては、電子入札システムにより申請書の受領後に発行される競争参加資格確認通知書は、申請書の受領通知として取り扱う。
- (3) 技術提案書等は、入札説明書に基づき作成するものとし、申請書及び資料と併せて提出すること。
- (4) (2)の①に規定する期間内に技術提案書等を提出しない者又は競争参加資格がないと認められた者は本競争入札に参加できない。

#### 4 総合評価落札方式に関する事項

- (1) 総合評価落札方式の仕組み  
本工事の総合評価落札方式は以下の方法により落札者を決定する方式とする。
  - ① 入札説明書に示された競争参加資格を満たしている場合に、標準点 100 点を付与する。
  - ② 上記 2 の (5) の技術提案、上記 3 の (1) の資料で示された実績等により、最大 30 点の加算点を与える。
  - ③ 上記 2 の (5) の技術提案、上記 3 の (1) の資料、下記 6 の (12) の施工体制に関するヒアリング及び追加資料等の内容に応じて、最大 30 点の施工体制評価点を与える。
  - ④ 得られた標準点、加算点及び施工体制評価点の合計を当該入札者の入札価格で除して算出した値（以下「評価値」という。）を用いて落札者を決定する。  
その概要を以下に示すが、具体的な技術的要件及び入札の評価に関する基準等については、入札説明書において明記する。
- (2) 評価項目  
以下に示す項目を評価項目とする。
  - ア 施工能力等
    - ① 企業の施工実績
    - ② 配置予定技術者の能力
    - ③ 企業の安全管理状況
  - イ 信頼性・社会性
    - ① 地域精通度
    - ② 地域貢献度

ウ 技術提案（施工計画含む）

本工事における施工計画の実施手順、工程管理・品質管理・安全管理の方法及び施工上の課題への対応方法の妥当性、工夫等により評価する。

エ 施工体制の確保に関する事項

※ア、イ及びウの3項目で最大30点の加算点とする。

エで最大30点の施工体制評価点とする。

(3) 落札者の決定の方法

入札参加者は価格及び技術提案書等をもって入札する。標準点に加算点及び施工体制評価点を加えた点数をその入札価格で除して評価値（評価値＝{(標準点＋加算点＋施工体制評価点)／(入札価格)}）を算出し、次の条件を満たした者のうち、算出した評価値が最も高い者を落札者とする。

ただし、予定価格が1千万円を超える工事について、落札者となるべき者の入札価格では当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不適当であると認められるときは、入札価格が予定価格の制限の範囲内で、発注者の求める最低限の要求要件を全て満たして入札した他の者のうち、評価値が最も高い者を落札者としてすることがある。

① 入札価格が予定価格の制限の範囲内であること。

② 評価値が標準点（100点）を予定価格で除した数値「基準評価値」を下回らないこと。

5 入札手続等

(1) 担当部局

〒070-8003 旭川市神楽3条5丁目3番11号

上川中部森林管理署 総務グループ（総括事務管理官）

電話：050-3160-5745

メールアドレス：h\_kamikawachubu@maff.go.jp

(2) 入札説明書等の交付期間、場所及び方法

①交付期間：令和7年3月21日から令和7年4月18日まで（休日を除く。）の9時00分から17時00分まで（12時から13時までを除く。）。

②場所：〒070-8003 旭川市神楽3条5丁目3番11号

上川中部森林管理署 総務グループ（総括事務管理官）

電話：050-3160-5745

③その他：配付資料は無料である。

(3) 入札及び開札の日時、場所及び提出方法

入札書は、電子入札システムにより提出すること。ただし、やむを得ない事情により発注者の承諾を得た場合は、紙入札による入札書を持参すること。郵送等の持参以外の方法による提出は認めない。

① 電子入札システムによる場合

入札開始日時 令和7年4月16日8時30分

入札締切日時 令和7年4月21日10時00分

② 紙入札方式により持参する場合は、令和7年4月21日10時00分に上川中部森林管理署入札室へ持参の上、入札すること。

③ 開札は、令和7年4月21日10時00分に上川中部森林管理署において行う。

④ 紙入札方式による競争入札の執行に当たっては、分任支出負担行為担当官により競争参加資格があると確認された旨の通知書の写し及び委任状がある場合は委任状を

持参すること。

## 6 その他

(1) 手続において使用する言語及び通貨  
日本語及び日本国通貨に限る。

### (2) 入札保証金及び契約保証金

① 入札保証金 免除

② 契約保証金 納付(保管金の取扱店 日本銀行 旭川代理店)。

ただし、以下の条件を満たすことにより契約保証金の納付に代えることができる。

ア 利付き国債の提供(保管有価証券の取扱店 日本銀行札幌東代理店)

イ 金融機関若しくは保証事業会社(公共工事の前払金保証事業に関する法律(昭和 27 年法律第 184 号)第 2 条第 4 項に規定する保証事業会社をいう。)の保証(取扱官庁 上川中部森林管理署)

また、公共工事履行保証証券による保証を付した場合又は履行保証保険契約の締結を行った場合には、契約保証金の納付を免除する。

なお、電子証書等(電磁的記録により発行された保証証書等をいう。)を利用する際は、落札者は電子証書等閲覧サービス上にアップロードされた電子証書等を閲覧するために用いる契約情報及び認証情報を契約担当官等に提供し、契約担当官等は当該契約情報及び認証情報を用いて当該電子証書等を閲覧する。

### (3) 工事費内訳書の提出

第 1 回の入札に際し、第 1 回の入札書に記載される入札金額に対応した工事費内訳書を電子入札システム等により提出すること。紙入札方式の場合は、入札書とともに工事費内訳書(様式自由)を提出すること。なお、当該工事費内訳書未提出の入札は無効とする。

### (4) 入札の無効

① 本公告に示した競争参加資格のない者が行った入札、技術提案書等に虚偽の記載をした者が行った入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

② 無効の入札を行った者を落札者としたことが明らかとなった場合には、落札決定を取り消す。

③ 分任支出負担行為担当官から競争参加資格のあることを確認された者であっても、開札の時に上記 2 に掲げる資格がない場合は、競争参加資格のない者に該当する。

④ 上記①の場合には、「工事請負契約指名停止等措置要領」第 1 第 1 項の規定に基づく指名停止若しくは第 10 の規定に基づく書面又は口頭での警告又は注意の喚起を行うことがある。

### (5) 配置予定監理技術者の確認

落札者決定後、CORINS(一般財団法人日本建設情報総合センターの工事实績情報システム)等により配置予定の監理技術者等の専任制違反の事実が確認された場合、契約を締結しないことがある。なお、分任支出負担行為担当官によりやむを得ないものとして承認された場合の他は、配置予定監理技術者等の変更は認められない。

### (6) 契約書作成の要否 要。

(7) 関連情報を入手するための照会窓口 上記5の(1)に同じ。

(8) 一般競争参加資格の認定を受けていない者の参加

上記2の(2)に掲げる一般競争参加資格の認定を受けていない者も上記3の(2)により技術審査資料等を提出することができるが、競争に参加するためには、開札の時に於いて、当該資格の認定を受け、かつ競争参加資格の確認を受けていなければならない。

(9) 技術提案書等の内容のヒアリング

技術提案書等の内容についてのヒアリングは原則として行わない。なお、ヒアリング実施の必要が生じた場合は別途通知する。

(10) 本案件は、技術提案書等の提出及び入札を電子入札システムで行うものであり、詳細については、入札説明書及び「電子入札システム運用基準（建設工事及び測量・建設コンサルタント等業務）」（平成16年7月29日付け16林政政第269号林野庁長官通知）による。

(11) 発注者綱紀保持対策について

農林水産省の発注事務に関する綱紀保持を目的とした、農林水産省発注者綱紀保持規程（平成19年農林水産省訓令第22号）第10条及び第11条にのっとり、第三者から以下の不当な働きかけを受けた場合は、これを拒否し、その内容（日時、相手方及び働きかけの内容）を記録し、同規定第9条に基づき設置する発注者綱紀保持委員会（以下、「委員会」という。）に報告し、委員会の調査分析において不当な働きかけと認められた場合には、当該委員会を設置している機関において閲覧及びホームページにより公表する。

（不当な働きかけ）

- ① 自らに有利な競争参加資格の設定に関する依頼
- ② 指名競争入札において自らを指定すること又は他者を指名しないことの依頼
- ③ 自らが受注すること又は他者に受注させないことの依頼
- ④ 公表前における設計金額、予定価格、見積金額又は低入札価格調査制度の調査基準価格に関する情報聴取
- ⑤ 公表前における総合評価落札方式における技術点に関する情報聴取
- ⑥ 公表前における発注予定に関する情報聴取
- ⑦ 公表前における入札参加者に関する情報聴取
- ⑧ その他の特定の者への便宜又は利益若しくは不利益の誘導につながるおそれのある依頼又は情報聴取

(12) 施工体制を評価するために、技術提案書等の内容のヒアリングとは別に、施工体制に関するヒアリングを実施するとともに、技術提案書とは別に追加資料の提出を求める場合がある。

なお、ヒアリングに応じない者及び追加資料を提出しない者が行った入札は、入札に関する条件に違反した入札として無効とする。

(13) 詳細は入札説明書による。

また、入札に参加を希望する者は、北海道森林管理局ホームページに掲載されている競争契約入札心得を熟知のうえ、入札に参加すること。

掲載場所：北海道森林管理局 > 公売・入札情報 > 競争参加資格関係・入札参加者への注意事項等 > 資料7：北海道森林管理局競争契約入札心得

(14) 本公告に記載のない事項については、北海道森林管理局競争契約入札心得による。



お知らせ

農林水産省の発注事務に関する綱紀保持を目的として、農林水産省発注者綱紀保持規程（平成 19 年農林水産省訓令第 22 号）が制定されました。この規程に基づき、第三者から不当な働きかけを受けた場合は、その事実をホームページで公表するなどの綱紀保持対策を実施しています。

詳しくは、北海道森林管理局ホームページ  
(<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/apply/publicsale/keiyaku/contract.html>)  
をご覧ください。

別添 1

## 競争参加資格確認結果通知書

1 工 事 名 滝の前治山工事

2 所 属 署 上川中部森林管理署

3 入札公告日 令和 7 年 3 月 21 日

4 競争参加資格確認結果通知期限日 令和 7 年 4 月 8 日

資格確認申請者	資格の有無	資格がないと認めた理由
株式会社 中川建設	有	
株式会社 飯島組	有	

(備 考)

(別添 2)

## 入札執行調書（簡易型総合評価落札方式）

入札物件番号（第 1 号）					工事名：滝の前治山工事							
入札者の商号又は名称	技術評価点				第 1 回 入 札			備考	第 2 回 入 札			備考
	総計	標準点	施工能力 加算点	施工体制 評価点	入札価格 （消費税抜き） 円	評価値 （点／百万円）	評価順位		入札価格 （消費税抜き） 円	評価値 （点／百万円）	評価順位	
株式会社 中川建設	150.5	100.0	20.5	30.0	178,400,000	0.843	－					
株式会社 飯島組	155.2	100.0	25.2	30.0	175,000,000	0.886	1	落札				
		</										

入札執行月日 令和7年4月21日

開札結果は上記の金額のとおり相違ありません。

執行官	農林水産 技官	猪股 英史
立会職員	農林水産 技官	千代 秀樹
確認職員	農林水産 技官	千代 秀樹

(別添3)

令和 7 年度

## 積 算 内 訳 書

大分類流域 石狩川 支流域 層雲峡地区

工 事 名 滝の前治山工事

施 工 地 北海道上川郡上川町層雲峡  
上川中部森林管理署2202林班

森林管理局	北海道森林管理局
森林管理署	上川中部森林管理署
事務所名等	本署

## 本工事費内訳書

滝の前治山工事

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数 量		単 価		金 額	摘 要
山腹工（第1工区）	h a	0	510			70,096,000	費目行
治山土工	式	1				16,480,000	工種行
掘削工（岩石）	式	1				14,875,713	種別行
静的破碎工 軟岩1B	m3	149		99,837		14,875,713	
作業土工	式	1				1,605,188	種別行
R C M（搭乗運転）山腹水路工 床掘 礫質土・粘性土	m3	57		5,656		322,392	
主アンカーワイヤーロープ設置撤去	個所	4		187,658		750,632	
R C M準備登坂工 礫質土・粘性土	回	1		532,164		532,164	
山腹基礎工	m	34				13,282,000	工種行
法切工	式	1				794,401	種別行
R C M（搭乗運転）切り崩し 礫質土・粘性土	m3	229		3,469		794,401	
アンカー工（ロータリーパーカッション）	式	1				10,180,609	種別行
削孔工 二重管 スキッド型・55kW(モーター式) 115mm 礫質土	m	101		32,588		3,291,388	
削孔工 二重管 スキッド型・55kW(モーター式) 115mm 軟岩	m	36	300	38,608		1,401,470	

## 本工事費内訳書

滝の前治山工事

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数 量		単 価		金 額	摘 要
アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理(アンカー) 簡易防食 PC鋼棒 10mを超える 400≦f<1300kN 無し	本	21		33,610		705,810	
グラウト注入(アンカー)	m3	4	570	77,300		353,261	
足場(アンカー)	空m3	1,060		4,178		4,428,680	
水路工	式	1				2,307,987	種別行
山腹コルゲートフリューム据付・基礎工・埋戻 400型	m	94	100	16,450		1,547,945	
土のう積工（山林砂防工） 麻製 制作・積立て 中詰土現地採取	m2	18	800	30,981		582,442	
コルゲートパイプ 据付・撤去 フランジ型 800mm以上1,200mm以下	m	10		17,760		177,600	
構造物取り壊し工	式	1				46,000	工種行
構造物取り壊し工	式	1				46,120	種別行
産業廃棄物処理費 金属くず	t	3	460	1,000		3,460	
産業廃棄物運搬費（金属くず） 10t車 90kmまで	台	1		42,660		42,660	
山腹緑化工	式	1				15,053,000	工種行
整地工	式	1				2,493,841	種別行
R C M（搭乗運転）法面整形 礫質土・粘性土	m2	1,552		1,095		1,699,440	

## 本工事費内訳書

滝の前治山工事

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数 量		単 価		金 額	摘 要
R C M（搭乗運転）撥ね付け 礫質土・粘性土	m3	229		3,469		794,401	
筋工	式	1				1,147,740	種別行
丸太筋工 3本筋 杭長0.80m 普通作業員 皮剥加工あり	m	235		4,884		1,147,740	
伏工	式	1				11,411,856	種別行
植生マット工（モルタル袋付） 種子なし	m2	1,552		7,353		11,411,856	
落石防止工	式	1				25,235,000	工種行
高エネルギー吸収柵工	式	1				25,235,934	種別行
ベースプレート設置工	個所	6		50,562		303,372	
支柱アンカー頭部締付工	本	12		1,939		23,268	
支柱設置工 H=4.0m	個所	6		103,574		621,444	
ウインチ設置撤去	個所	1		502,862		502,862	
保持ケーブル設置工	本	12		35,245		422,940	
上部・下部ケーブル設置工	スパン	5		98,641		493,205	
サイドケーブル設置工	本	2		46,644		93,288	

## 本工事費内訳書

滝の前治山工事

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数 量		単 価		金 額	摘 要
ケーブルネット設置工 標準部	m2	136		17,068		2,321,248	
高エネルギー吸収柵材料費 H=4.0m	式	1				20,454,307	
仮設工	式	1				34,240,000	費目行
仮設工（任意）	式	1				34,240,000	工種行
工事用道路工	式	1				882,407	種別行
敷鉄板設置・撤去 敷鉄板賃料・整備費・運搬費は別途	m2	185	800	422		78,407	
敷き鉄板賃料(360日) 22×1524×6096mm	枚/日	7,200		108		777,600	
鋼板整備費（賃貸） 22×1524×6096mm	枚	20		1,320		26,400	
防護施設設置工	式	1				4,601,250	種別行
仮設防護柵設置工 立木タイプ	m	75		51,105		3,832,875	
仮設防護柵設置工 B型	組	9		85,375		768,375	
運搬設備工	式	1				28,756,829	種別行
工事用モノレール架設・撤去 3条レール 150m	日	23	300	273,458		6,371,571	
工事用モノレール運転経費 3t積	日	60		82,528		4,951,680	



## 本工事費内訳書

滝の前治山工事

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数	量	単	価	金	額	摘	要
工事用モノレール等賃料 3t積	式	1				12,514,000			
工事用モノレール整備費	式	1				1,505,000			
簡易ケーブルクレーン設置・撤去費 1.0t吊 9.2kw	基	1		1,514,138		1,514,138			
簡易ケーブルクレーン運転経費 1.0t吊 9.2kw	日	60		31,674		1,900,440			
直接工事費	式	1				104,336,000			
共通仮設費計	式	1				16,436,000			
共通仮設費(積上げ分計)	式	1				4,553,000			
運搬費	式	1				3,149,932			
技術管理費	式	1				1,403,085			
共通仮設費(率計上)	式	1				10,861,000			
現場環境改善費(率計上)	式	1				1,022,000			
純工事費	式	1				120,772,000			
現場管理費	式	1				32,487,000			
工事原価	式	1				153,259,000			

6 頁